

先週末までのマーケット動向(5月30日~6月3日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,250.1	1,254.7	1,235.0	1,242.7	▲13.5
JPY/KRW	9.8224	9.8626	9.5390	9.5673	▲0.333
KOSPI	2,662.31	2,685.90	2,653.59	2,670.65	+32.60

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は続落した。27日海外時間に発表された米4月PCEコアデフレーターでインフレの伸びが鈍化したことからドル売り優勢となり、30日は1,250.1ウォンにてスタート。この日は市場全体で大幅な人民元高となった他、ドル/ウォンにはロングポジションの巻き戻しが入り、31日開始には週安値1,235.0まで下落した。1日海外時間に良好な米5月ISM製造業景況指数をきっかけに再び米金利が上昇すると、2日のドル/ウォンは週高値1,254.7まで一気に反発するような場面も見られたものの、軟調な米5月ADP雇用統計に加え3日朝には予想比強い韓国5月CPI(結果:前年比+5.4%、予想:同+5.1%)も出る中、ドル/ウォンは再び上値が重い展開となった。結局、先週末対比13.5ウォン下落した1,242.7ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上昇する展開を予想する。先週海外時間に発表された米5月雇用統計は労働市場のタイト感を裏付ける内容であり、着実に伸びる平均時給(結果:前月比+0.3%、予想:同+0.4%)も意識され、米10年債利回りは再び大台の3%台に乗せる展開となっている。今週9日にはECB理事会があるものの、既に市場はECBの7月利上げ開始を織り込んでおり、これ以上の引き締め予想はしばらく、ドル買いを阻むものとは考えにくい。原油価格が再上昇する中、韓国の実需のウォン売り圧力も高まることが想定されドル/ウォンは底堅く推移しよう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1245 ~ 1275	9.35 ~ 9.70	131.5 ~ 133.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 6日(月) 中 5月 総合PMI
中 5月 サービス業PMI
- 8日(水) 日 4月 国際収支
韓 1Q GDP 速報値
欧 1Q GDP 確報値
日 1Q GDP 確報値
- 9日(木) 中 5月 貿易収支
欧 ECB 政策金利発表
- 10日(金) 米 6月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
韓 4月 国際収支
中 5月 PPI
中 5月 CPI
米 5月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。